

Revolt Guitar ユーザーズマニュアル

3チャンネル オールアナログギターアンプシュミレーター



ReVolt Guitarをご購入いただきありがとうございます。あなたは次世代のトーンの可能性の世界へ踏み出す準備が整いました!

澄みきったクリーントーンから、ヘヴィメタルの最凶のトーンまで、あなたのパフォーマンスは究極のトーンエクセレンスを求めます。そこで登場するのがReVolt Guitarです。最先端のアナログ3チャンネルプリアンプとして設計されたこの製品は、あなたのリグの中心に据えるべき存在です。

Two notesの高評価を得ているプリアンプソリューションの最新バージョンは、究極のファンデーショントーンをプレイヤーに提供するという一つのミッションをもって設計されました。単なる「アンプ・イン・ア・ボックス」という既成概念を忘れてください。ReVolt Guitarは他と一線を画します。3つの象徴的なアンプからインスパイアされ、200Vの電圧と本物のチューブパワーで駆動され、多様な使用シナリオに適応するために生まれました。また、統合されたOD-Boost回路により、他を圧倒するパフォーマンスを発揮します。Two notesは理解しています。「トーンは重要」だと。完璧以下で妥協する必要ありません。

このマニュアルの完全な電子版、およびTwo notes Audio Engineeringのソフトウェアとハードウェア製品は、アップデートの対象となります。最新バージョンの製品はTwo notes Audio Engineeringのウェブサイトからダウンロードできます。

このマニュアルではReVolt Guitarについて説明し、その操作方法を提供します。製品を使用する前にこの取り扱い説明書を必ずお読み下さい。本書の内容は十分に検証されており、工場から出荷された時点または当社ウェブサイトからダウンロードされた時点で正確に製品を説明していると考えられます。

OROSYS SAS
76 rue de la Mine
34980 Saint-Gély-du-Fesc
France
Tel: +33 (0)484 250 910
Fax: +33 (0)467 595 703
Contact and support: <http://support.two-notes.com>
Website: <http://www.two-notes.com>

このドキュメントは、OROSYS SASの独占的所有物です。製品開発のために、OROSYS SASは、事前の通知なしに技術仕様を変更、修正、および/または生産を中止する権利を留保します。OROSYS SASは、ReVolt Guitarの不適切な使用に起因する偶発的またはその他の損害について責任を負いません。このマニュアルに記載されている安全上の注意を参照してください。このドキュメントのいかなる部分も、OROSYS SASの書面による許可なしに複製することは固く禁じられています。すべての製品名および商標は、それぞれの所有者に帰属します。本書に記載されている製品名および商標は、ReVolt Guitar の開発時に使用されたものであり、OROSYS SAS とは一切関係ありません。

序文

1. 安全上の注意

- 本製品を使用する前に、以下の情報を注意深く読み、考慮する必要があります。本書は安全な場所に保管してください。この文書は安全な場所に保管してください。ユーザーと本製品を保護するために重要です。製品の故障が疑われる場合、Two notes Audio エンジニアリングは、資格のある技術者の支援を求めるところをお勧めします。
 - 電源アダプターに必要な電圧が、お住まいの国の電圧仕様に適合していることをご確認ください。そうでない場合、または確信が持てない場合は、製品をコンセントに接続しないでください。コンセントに接続しないでください。主電源アダプターや本製品が損傷したり、使用者が怪我を負う可能性があります。雷が発生している場合は、本製品を使用しないでください。悪天候の場合、落雷の恐れがある場合は、感電や火災の危険を避けるため、電源アダプターのプラグを抜いてください。本製品に付属している主電源アダプタは、本製品を購入した国の規格に準拠しています。交換が必要な場合は、標準規格に準拠した主電源アダプターをご使用ください。
 - ReVoltは、熱源の近く、火気の近く、雨の中、湿気のある場所、液体の近くでは絶対に使用しないでください。液体の近くでは使用しないでください。ReVoltを運搬する際は、衝撃に注意してください。本機を運搬する際は、衝撃を与えないように注意してください。
 - クリーニングには、アルコールや溶剤を含まず、常に乾いた柔らかい布を使用してください。本機を清潔に保ち、ほこりのない状態にしてください。
 - すべてのメンテナンス作業は、Two notesが認定したサービスセンターまたは有資格の技術者が行ってください。絶対に自分で修理しないでください。
-

2. パッケージ内容

出荷されたパッケージには以下が含まれます:

- 保護スリーブに入ったReVoltユニット 1台
- 電源アダプター 1個
- 1/8" TRSジャック-to-MIDI Type-Aアダプター 1個
- クイックスタートガイド 1冊

このマニュアルの完全な電子版と、GENOMEのマニュアルは変更される可能性があります。最新バージョンのバンドルソフトウェアおよび関連するユーザーガイドは、Two notes Audio Engineeringのウェブサイトからダウンロードできます。

3. 適合宣言

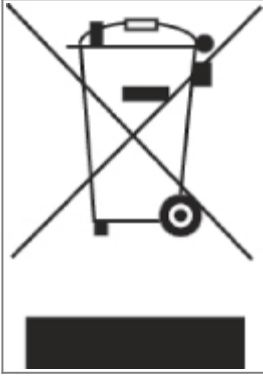
- 製造業者:OROSYS SAS
- 製品カテゴリー:アナログオーディオ信号プロセッサー
- 製品名:ReVolt
- テストマネージャー:Guillaume Pille

出荷されたパッケージには以下が含まれます:

- EN 55103-1 : 1996 および EN 55103-2 : 1996
- EN 60065 05/2002 + A1 05/2006
- EMC指令 89/336/EEC および低電圧指令 73/23/EEC
- FCC Part 15 : 2008
- ICES-003 : 2004
- オーストラリアおよびニュージーランド向け AS/NZS 3548 クラスB



4. 欧州連合の個人家庭のユーザーによる廃棄物の処分製品



本製品またはそのパッケージにあるこの記号は、この製品を他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。代わりに、廃電気電子機器のリサイクルのために指定された収集場所に廃棄物を引き渡すことにより、廃棄物を処分するのはあなたの責任です。廃棄時に廃棄物を分別して収集してリサイクルすることで、天然資源を保護し、人間の健康と環境を保護する方法でリサイクルすることができます。リサイクルのために廃棄物をどこに持ち込むことができるかの詳細については、最寄りの市役所、家庭ごみ処理サービス、または製品を購入したショップにお問い合わせください。

5. 保証

OROSYS SASは、このTWO NOTES AUDIO ENGINEERING製品が、購入日から2年間、通常の動作条件下で使用された場合、部品および製造上の欠陥がないことを保証します。この保証は、TWO NOTES AUDIO ENGINEERINGの正規販売店から購入した最初の購入者にのみ適用されるものとします。

重要:購入レシートは限定保証の対象となる購入の証明であるため、保管してください。この限定保証は、購入レシートがないと無効になります。

この保証の対象となる欠陥のある製品は、(OROSYS SASの独自の裁量により)同等または同等の製品と無料で修理または交換されます。保証サービスが必要な場合は、認定TWO NOTES AUDIO ENGINEERINGディーラーに連絡して、該当する保証期間中に購入証明書を添えて、完全な製品を最寄りの認定TWO NOTES AUDIO ENGINEERINGサービスセンターに返送するためのRMAを取得してください。

輸送費

本限定保証には、サービスセンターへの輸送費は含まれていません。OROSYS SASは、この保証の対象となる修理に関して、標準的な地上輸送の返送費用を負担します。本限定保証は、製品のシリアル番号が汚損または削除された場合、または製品が改造、誤用（不適切または不適合な周辺機器への接続を含む）、事故（雷、水、火などを含む）、または放置によって損傷した場合、無効となります。

また、OROSYS SASによって承認されていない者が修理を試みた場合も、本保証は無効です。州または地方の法律で課される商品性の黙示保証や特定の目的への適合性の黙示保証を含むいかなる黙示保証も、本限定保証の期間に限定されます。一部の州や地方では、黙示保証の期間に関する制限を許可していないため、上記の制限は適用されない場合があります。

責任の制限

OROSYS SASは、この製品の故障による財産損害、または同製品の使用不能による収入の損失、満足感の喪失、または損害に対して一切の責任を負いません。

TWO NOTES AUDIO ENGINEERING製品を他の場所に送る必要がある場合、元の梱包材を保持することが非常に重要です。これらの材料なしで製品を輸送すると、損傷を避けるのが非常に困難です。OROSYS SASは、不適切な梱包による製品の損傷に責任を負いません。また、元の梱包材なしで返送されたユニットに対して、再梱包料金を請求する権利を有します。

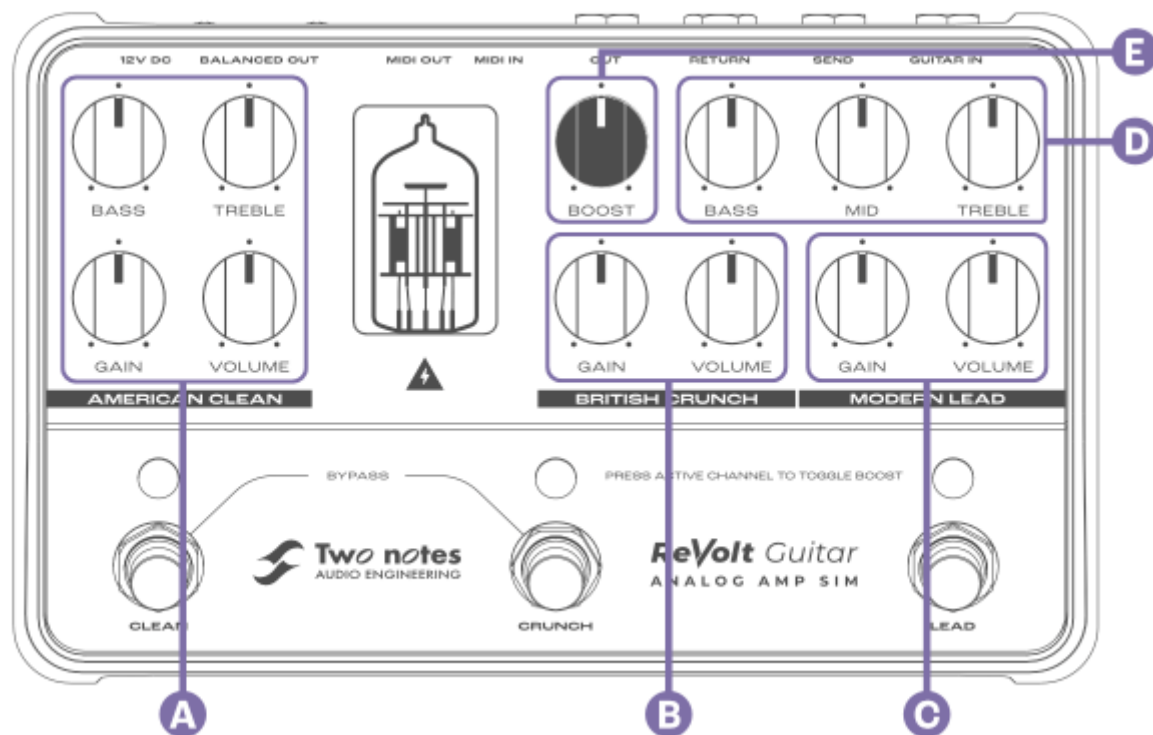
保証の排他性

上記は、OROSYS SASによって製品に関して行われる唯一の保証であり、明示的または黙示的に他のすべての保証に代わるものであることを明示します。

ReVolt Guitarの主な特徴

- 3チャンネルのギターアンプシミュレーターで、全てアナログ信号経路を採用
- 高電圧で駆動する12AX7プリアンプチューブにより、トーンに暖かさと噛み応えを与えます。
- 専用のスイッチとレベルコントロールを備えた統合型OD-ブースト回路
- スタジオでもステージでもシームレスなDIを実現する高度なアナログキャブシミュレーター
- 4ケーブルモード、FXループ、MIDIイン/アウトを備えた既存セットアップへのスムーズな統合
- ペダルボードやフライリグに最適な、頑丈で移動に適したデザイン
- 先見の明のあるプレイヤーのためのデジタルアプリおよびプラグインベースのトーンシェーピングにおける最終形、「GENOME」の生涯ライセンスが含まれる (VST/AU/AAX/standalone)
- 主要なギターアンプブランドにインスパイアされた10種類のDynIRキャプチャを含む「ReVolt: Series-G DynIR Cabinet Collection」(100€/ドル相当)が付属

1. トップパネル



A - AMERICAN CLEAN

名称	機能
BASS	BASS パッシブ低域のボイシングセクションを調整します。ノブを回すと、100Hz 以下の信号が減衰 (-26dB まで)またはブースト (+6dB まで)されます。
TREBLE	パッシブ高域ボイシング・セクションを調整します。ノブを回すと、1.5kHz 以上の信号が減衰 (-13dB まで)またはブースト (+12dB まで)されます。
GAIN	AMERICAN CLEANチャンネルのゲインを調整します。ゲインを上げると信号が歪み、極端な場合は不要なクリッピングが発生します。
VOLUME	AMERICAN CLEANチャンネルの出力ボリュームを調整します。FX Loopの手前に位置します。不要なクリッピングが発生した場合、ボリュームを下げてみて、信号経路の後続のデバイスがオーバードライブしていないことを確認してください。

B - BRITISH CRUNCH

名称	機能
GAIN	BRITISH CRUNCHチャンネルに供給するゲインの量を調整します。ゲインを上げると信号が歪み、極端な場合は不要なクリッピングが発生します。
VOLUME	BRITISH CRUNCHチャンネルの出力音量を調整します。FX Loopの手前に位置します。不要なクリッピングが発生した場合、ボリュームを下げてみて、信号経路の後続のデバイスがオーバードライブしていないことを確認してください。

C - MODERN LEAD

名称	機能
GAIN	MODERN LEADチャンネルに供給するゲインの量を調整します。ゲインを上げると信号が歪み、極端な場合は不要なクリッピングが発生します。
VOLUME	チャンネルの出力音量を調整します。FX Loopの手前に位置します。不要なクリッピングが発生した場合は、ボリュームを下げてみて、信号経路の後続のデバイスがオーバードライブしていないことを確認してください。

D - 2,3ch 共用EQ BRITISH CRUNCH / MODERN LEAD

名称	機能
BASS	ノブを回すと1共通トーンスタックの低域を調整します。100Hz 以下の信号が減衰 (-9dB まで)またはブースト (+4dB まで)されます。
MID	ノブを回すとトーンスタックの中音域を調整します。750Hz を中心に信号が減衰 (-10dB まで)またはブースト (+10dB まで)されます。
TREBLE	ノブを回すとトーンスタックの高域音域を調整します。1.5kHz 以上の信号が減衰 (-6dB まで)またはブースト (+6dB まで)されます。

E - BOOST

名称	機能
BOOST	ブーストを調整します (アクティブ・チャンネルのフットスイッチを押すことで初期化されます)。700Hz を中心に+2dBから+20dBまでシグナルを増加させます。

2. フットスイッチとLEDの機能

2.1 チャンネルのアクティブ化

CLEAN、CRUNCH、LEADの各フットスイッチを押すことで、各チャンネルをアクティブにすることができます。チャンネルがアクティブになると、フットスイッチの上にあるLEDが点灯します：

- AMERICAN CLEANチャンネルは緑色
- BRITISH CRUNCHチャンネルはオレンジ色
- MODERN LEADチャンネルは青色

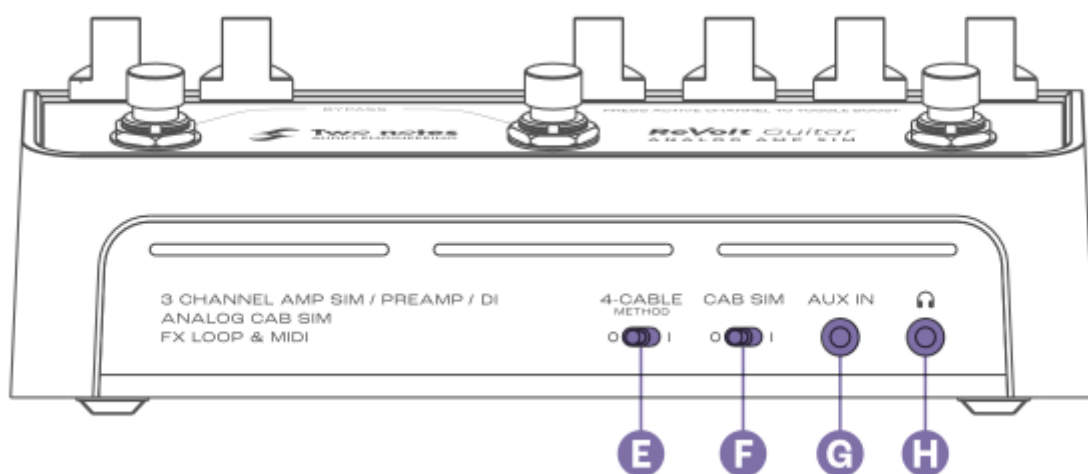
CLEANスイッチとCRUNCHスイッチを同時に押すと、ReVoltがバイパスされます。

2.2 BOOST アクティベーション

BOOSTは、アクティブなチャンネルのフットスイッチを押すことで有効になります。たとえば、ReVoltがBRITISH CRUNCHチャンネルに設定されている場合、再度CRUNCHスイッチを押すと、このチャンネルでブーストが有効になります。BOOSTがチャンネルで有効になっているとき、チューブの色が琥珀色から赤に変わります。アクティブなチャンネルで3回押すと、ブーストが無効になります。

デフォルトでは、チャンネルが変更された際にBOOSTの状態は記憶されません。この動作は、ReVoltの詳細なセットアップメニューを通じて変更することができます（マニュアルの[このセクション](#)を参照してください）。

3. フロントパネル



E - 4ケーブル方式

このスイッチは、ReVoltのエフェクトループとそのバイパス動作の挙動を決定します。この機能の包括的な設定ガイドラインについては、「4ケーブル方式でアンプをスーパーチャージする」セクションを参照してください。

F - キャビネットシミュレーション

ReVolt GuitarのCAB SIMスイッチ (Iポジション)をオンにすると、ReVoltのBALANCED出力とヘッドホン出力にアナログ・キャビネット・シミュレーションが適用されます。このアナログシミュレーションはMarshall® 4×12 Slash Signatureキャビネットにインスパイアされています。

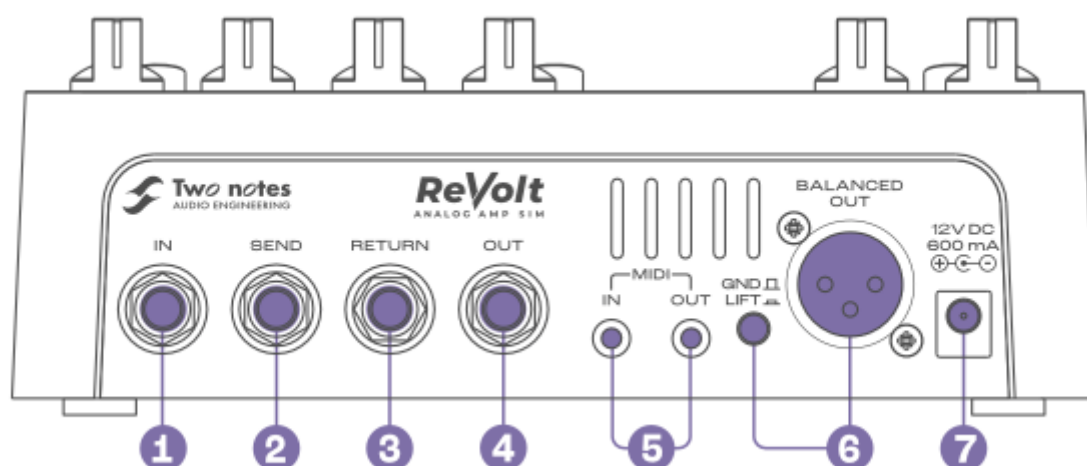
G - AUX イン

ここに音楽プレーヤーを接続し、再生レベルを音源のコントロールで調整します。この入力はステレオです。

H - ヘッドホン出力

ヘッドホン出力は1/8インチTRSジャックソケットです。この出力は、最大100Ωのヘッドホンに対応するようにキャリブレーションされています。ReVoltの信号はモノラルであり、AUX INの音声はヘッドホンを通じてのみステレオで聞くことができます。CAB SIMスイッチで適用されるキャビネットシミュレーションも、ヘッドホン出力を通じて聞くことができます。

4. バックパネル



1 - IN

ここに楽器を接続します。入力は1/4インチTS (アンバランス)ジャックソケットです。

2 - SEND

このアンバランス出力を使用して、エフェクトペダルやアンプのインストゥルメント入力に接続します (4ケーブル方式スイッチ (E) が有効な場合)。SEND出力は1/4インチTSジャックソケットです。4ケーブル方式スイッチが有効で、ReVoltがバイパスされている (アクティブなチャンネルがない) 場合、SENDはアンプや接続されたデバイスにドライ (未処理) のギター信号を送ります。

3 - RETURN

このアンバランス入力を使用して、外部エフェクトの出力をReVoltに接続するか、4ケーブル方式スイッチ (E) が有効な場合にアンプのエフェクトループSENDをこの入力に接続します。RETURN入力は1/4インチTSジャックソケットパネルマウントコネクタです。

エフェクトペダル (ディレイ、リバーブなど) を使用する場合は、4ケーブル方式をOに設定してください。ReVoltでチャンネルがアクティブな場合、エフェクトの処理された信号が聞こえます。

4 - OUT

このアンバランス出力 (1/4インチTSジャック) は、ReVoltのチャンネルのドライ信号を送信します。CAB SIMはこの出力には適用されません。

5 - MIDI IN/OUT

MIDI In/Outソケットは1/8インチTRSジャックパネルマウントコネクタです。ReVoltには、1/4インチTRSジャック~MIDIタイプAアダプターケーブルが1本付属しています。デフォルトでは、ReVoltは1から7までのプログラムチェンジ (PC) メッセージを送受信します。すべてのMIDIメッセージはReVolt専用のMIDIセットアップメニューで編集できます (詳細はマニュアルのMIDI SETUPセクションを参照してください)。

6 - BALANCED OUT

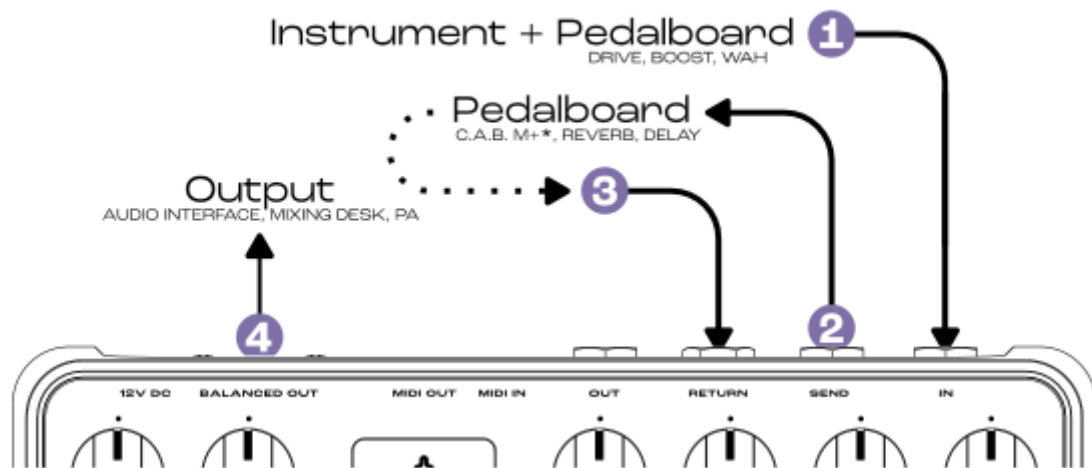
このバランス出力を使用して、オーディオインターフェース、モニター、またはミキシングデスクに直接接続します。CAB SIMスイッチ (F) でこの出力にスピーカーシミュレーションを適用します。GND/LIFTスイッチを有効にすると、グラウンドループによる不要なハムノイズを排除できます。

7 - MAINS POWER ADAPTOR

ここに付属の電源を接続します。ReVoltは12V DC、600mA、およびセンターマイナスの極性が必要です。

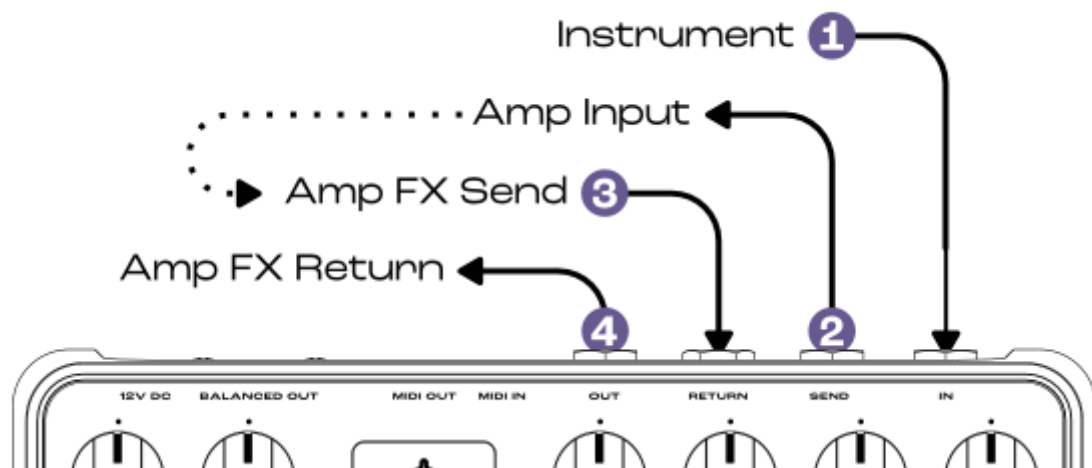
使用例

1. ステージとスタジオでのダイレクト接続



ステージ上やスタジオ録音時に、ReVoltを使用してミキシングデスクやオーディオインターフェースに直接接続します。BALANCED OUTを使用し、CAB SIMを有効にして、ReVoltからギターのトーン全体を出力します。ReVoltのFXループにエフェクトを追加して、さらにトーンを洗練させることができます。また、エフェクトループやOUT出力にC.A.B. M+を接続して、クラス最高のDynIRキャビネットエミュレーションをリグに追加することもできます。

2. 4ケーブル方式でアンプをスーパーチャージ



アンプにエフェクトループが装備されている場合、ReVoltの3つのチャンネルをアンプのチャンネル仕様に追加します。ReVoltで4ケーブル方式を有効にし、以下の接続ガイドラインに従ってReVoltのエフェクトループとアンプのエフェクトループを組み合わせます。

1. 楽器/ペダルボードをReVoltのINに接続する。
2. ReVoltのSENDをアンプの入力に接続する。
3. アンプのエフェクトループSENDをReVoltのRETURNに接続する。
4. ReVoltのOUTをアンプのエフェクトループRETURNに接続する。

ReVoltがバイパスされている場合、ドライなギター信号がアンプの入力を通過し、アンプのすべての機能やトーンシェーピングはReVoltの全アナログ処理によって変更されません。ReVoltでチャンネルがアクティブになると、信号はReVoltのプリアンプとトーンスタックを通過し、アンプのパワーアンプにのみフィードされます。

3. GENOMEでさらにトーンを追求

OUT出力をオーディオインターフェースのインストゥルメント入力に接続し、ReVoltのチャンネルをGENOMEと組み合わせて、キャビネットシミュレーションと追加のポストプロセッシングエフェクトを強化します。

または、CAB SIMを無効にし、BALANCED OUTをオーディオインターフェースのマイクプリアンプに接続して、GENOMEで信号を録音/処理することもできます。

仕様

インプット	サイズ	機能 / 仕様
IN	6.35mm (1/4")	ジャック 6.35 mm (1/4"), アンバランス (TS, チップ/スリーブ) インピーダンス: 1 MΩ
SEND	6.35mm (1/4")	Jack 6.35mm (1/4"), アンバランス (TS) 最大出力レベル: 11 dBu インピーダンス: 10kΩ
RETURN	6.35mm (1/4")	ジャック6.35mm (1/4"), アンバランス (TS) 最大出力レベル: 11dBu インピーダンス:1MΩ バッファ無し, アクティブ時はアウトプットに直接接続
OUT	6.35mm (1/4")	ジャック6.35mm (1/4"), アンバランス(TS) 最大出力レベル: 11dBu インピーダンス: 300Ω
MIDI IN	3.5mm (1/8")	MIDIアダプターケーブル ピンアウト: チップ=DIN 5 リング=DIN 4 スリーブ= DIN2
MIDI OUT	3.5mm (1/8")	MIDIアダプターケーブル ピンアウト: チップ=DIN5 リング=DIN 4 スリーブ=DIN 2
GND LIFT	スイッチ	スイッチを入れるとReVoltのグラウンドとバランス出力の接続が開きます。(切断されます)
BALANCED OUT	XLR	XLRバランスインピーダンス:バランス 6 0 0 Ω アンバランス 3 0 0 Ω 最大出力レベル:11dBu

インプット	サイズ	機能/仕様
12V DC 600 mA	2.1mm	主電源アダプター DCジャック 2.1mm センターマイナス 入力電圧：DC12V 消費電力：約6W 電流 消費電流：600mA

高度な機能

1. セットアップメニューシステムの使用

セットアップメニューに入るには、フットスイッチAを押しながらデバイスに電源を供給します。セットアップメニューが表示されると、「チューブウィンドウ」に「最初のページ」の色が表示されます。

- ・フットスイッチBを押すと、次のページに進みます。
- ・フットスイッチAを押すと、前のページに戻ります。
- ・フットスイッチCを押すと、ページに入ります。

最後のページが選択されているときにフットスイッチBを押すと、最初のメニューが選択され、チャンネルLEDが素早く点滅します。

最初のページが選択されているときにフットスイッチAを押すと、最後のメニューが選択され、チャンネルLEDが素早く点滅します。

サブメニューに入るには、フットスイッチCボタンを押します。「チューブウィンドウ」の色が素早く点滅します。

サブメニュー内では、サイクルの電源を再投入する必要があります。

有効な設定はすぐに保存されます。

ユーザーに表示される番号は、チャンネルLEDを使用して表示されます。

- ・チャンネルA:100の位
- ・チャンネルB:10の位
- ・チャンネルC:1の位

例:123という番号は、チャンネルAで1回、チャンネルBで2回、チャンネルCで3回点滅して表示されます。同じプロセスがエラーメッセージにも適用されます。

2. メニューページ

セットアップメニューページと点灯色の参照

ページの順序は以下の通りです:

- ・FXループのデフォルト設定:ピンク
- ・ブーストのデフォルト設定:グリーン
- ・MIDIモニター:ホワイト
- ・MIDIラーニング:ブルー
- ・MIDIチャンネル:オレンジ
- ・MIDI PC番号:パープル

-
- ・FX LOOP MIDI CC:ターコイズ
 - ・BOOST MIDI CC:イエロー
 - ・FWバージョン / 工場出荷時リセット:レッド

3. MIDIセットアップ

3.1 MIDIモニター

MIDIモニターは、チューブ・ウインドウの後ろにあるRGB LEDを使って、受信したMIDI (PC、CC、SYSEX)メッセージのタイプを表示します。

MIDIメッセージを受信した場合の典型的な動作は以下の通りです:

- ・有効なメッセージを受信、チャンネルが間違っている - ORANGE を表示
- ・有効なメッセージを受信、PC - GREEN、CC - BLUE を表示します。チャンネルLEDにメッセージ#が表示されます。
- ・有効な SYSEX を受信、PINK を表示。メッセージのバイト数が 999 未満の場合、チャンネル LED に表示。

3.2 MIDIラーニング

このメニューは、各ReVoltチャンネル (各チャンネルのブースト状態を含む)およびバイパスモードに関連付けられたMIDI PC番号を設定するために使用できます。デフォルトのMIDI PC値は以下の通りです

	チャンネルA:	チャンネルA+ ブースト:	チャンネルB:	チャンネルB+ ブースト:	チャンネルC:	チャンネルC+ ブースト:	バイパス
Guitar	PC 0	PC 1	PC 2	PC 3	PC 4	PC 5	PC 6
BASS	PC 0	-	PC 1	-	PC 2	-	PC 3

このセットアップメニュー内でフットスイッチを押すと、そのメッセージをプログラムするためにペダルが設定されます。対応するLEDが1秒間点灯し、その後、現在そのチャンネルに割り当てられているPC番号が表示されます。

3.2.1 「チャンネルオン」PCへの割り当て (A, B, or C)

- ・A、B、またはCを押すと、対応するチャンネルLEDが一瞬点灯します。
 - ・1秒後、ReVoltはチャンネルLEDを使用して現在割り当てられているPC番号を点滅させます。ユーザーは有効なMIDI PCメッセージを送信することができます。
 - ・有効な場合、チャンネルLEDが1秒間点灯し、その後、ReVoltは新しく割り当てられたPC番号を点滅させ始めます。
 - ・無効な場合、PCメッセージが他のチャンネル機能に既に割り当てられている場合、チャンネルLEDが3回点滅します。デバイスは割り当てモードのまま、有効なPCメッセージを待機します。
-

3.2.2 「Channel On BOOST」 PCの割り当て (A、B、またはC)

- ・A、B、またはCを2回押すと、「チューブウィンドウ」がブーストモード (非常に赤く) を示します。対応するチャンネルLEDが一瞬点灯します。
- ・1秒後、ReVoltはチャンネルLEDを使用して現在割り当てられているPC番号を点滅させます。
- ・ユーザーは有効なMIDI PCメッセージを送信できます。
- ・有効な場合、チャンネルLEDは1秒間点灯したままになり、その後ReVoltは新しく割り当てられたPC番号を点滅させ始めます。
- ・無効な場合 (PCメッセージがすでに他のチャンネル機能に割り当てられている場合)、チャンネルLEDが3回点滅します。デバイスは割り当てモードのまま、有効なPCメッセージを待ちます。

3.2.3 BYPASS PCの割り当て

- ・A+Bを同時押し: すべてのLEDSは2*500msの間点滅します。
- ・1秒後、ReVoltはチャンネルLEDを使って現在割り当てられているPC番号を点滅させます。
- ・これでユーザーは有効なMIDI PCメッセージを送ることができます。
- ・有効な場合、チャンネルLEDは1秒間点灯したままになり、その後ReVoltは新しく割り当てられたPC番号を点滅させ始めます。
- ・無効な場合 (PCメッセージがすでに他のチャンネル機能に割り当てられている場合)、チャンネルLEDが3回点滅します。デバイスは割り当てモードのまま、有効なPCメッセージを待ちます。

3.3 MIDI PC番号

デフォルトでは、MIDI PCの開始値は0に設定されています。このメニューページでは、3つのチャンネルフットスイッチのいずれかを押した際に送信されるMIDI PCメッセージの開始値を設定できます。送信されるPCメッセージは以下の通りです:

	チャンネルA:	チャンネルA+ブースト:	チャンネルB:	チャンネルB+ブースト:	チャンネルC:	チャンネルC+ブースト:	バイパス
Guitar	PC番号	PC番号+1	PC番号+2	PC番号+3	PC番号+4	PC番号+5	PC番号+6
BASS	PC番号	-	PC番号+1	-	PC番号+2	-	PC番号+3

現在のPC番号はチャンネルLEDを通じて表示されます:

PC番号はフットスイッチA、B、またはCを押すことで増減できます。

- ・FS A = -1 FS B = +1 FS C = +10

注意: ペダルを最大許容MIDI PC開始値 (ReVolt Guitarでは122、ReVolt Bassでは125) を超えるように設定した場合、最初のオプションに戻り、その逆も同様です。

3.4 MIDIチャンネル

デフォルトでは、ReVoltのMIDIチャンネル設定は17 (OMNI)に設定されています。
このメニューページでは、ReVoltが使用するMIDIチャンネルを設定できます。ReVoltで利用可能なMIDIチャンネル値は次の通りです:

0	1 to 16	17
MIDIオフ、THRUのみアクティブ	このチャンネル番号でMIDIメッセージを受信および送信	OMNI (すべてのチャンネルでメッセージを受信し、チャンネル1で送信)

現在のチャンネル番号はチャンネルLEDを通じて表示されます。

チャンネル番号はフットスイッチA、B、またはCを押すことで増減できます。

FS A = -1 FS B = +1 FS C = +10

注意: 最大許容値 (17) を超えるようにプログラムした場合、それは17に設定されたままになります。最小値についても同様です。

4. BOOSTデフォルト設定

デフォルトでは、ReVoltのブースト設定はすべてのチャンネルでオフに設定されています。
このメニューページでは、各チャンネルのブースト状態とブースト動作を設定できます。2つの独立したモードがあり、BOOST DEFAULTとBOOST MEMOがあります。ユーザーが4CMスイッチを切り替えることで、これらのモード間を変更できます。

4.1 BOOST デフォルトモード

ReVolt Guitarのブーストの動作を設定するためのオプションです。ユーザーは「Boost Default Mode」と「Boost Memo Mode」のいずれかを選択できます。Boost Default Modeでは、各チャンネルのデフォルト状態 (ブーストがオンかオフか) を設定します。このモードでは、チャンネルに入ったときにブーストがアクティブならチャンネルLEDが点灯します。ブーストがオフの場合は、LEDは点灯しません。各チャンネルのデフォルトのブースト状態を切り替えるには、対応するフットスイッチを押してください。

4.2 BOOST メモモード

このモードを使用すると、各チャンネルごとにブーストのデフォルト状態を設定できます。一度設定されると、ReVoltを通常の動作モードに戻した際 (デバイスを再起動することで)、チャンネルごとのブースト状態が記憶されます。このモードに入ると、ReVolt GuitarのすべてのLEDが同時に点滅します。Boost Memo Modeが選択され、ReVoltが通常の操作モードに戻ったとき、特定のチャンネルでブーストがオンに設定されていれば、そのチャンネルではブーストがオフになるまでその状態が維持されます。

5. BOOST CC番号

デフォルトでは、ReVolt GuitarのブーストCC番号は15に設定されています。このメニューを使用すると、デフォルトのブーストMIDI CC番号を設定できます。CC番号はMIDI PC番号と同じ方法で表示され、増減できます。詳細は「PC番号」のセクションを参照してください。

ヒント: すでに割り当てられたCC番号を割り当てようとすると、すべてのLEDが点滅し、ReVoltは自動的に次の利用可能なMIDI CC番号にデフォルト設定されます。

6. FXループ

6.1 デフォルト状態

デフォルトでは、ReVoltのFXループのデフォルト状態は「すべてオン」に設定されています。この設定メニューを使用して、4CMモードを使用していない場合の各チャンネルのFXループ状態を選択できます。

メニューに入ると、チャンネルLEDが「ON」を表示している場合、そのチャンネルではFXループがアクティブです。対応するチャンネルのフットスイッチを押して、関連するチャンネルのFXループ状態を「ON/OFF」に切り替えます。

6.2 FXループCC

デフォルトでは、ReVoltのFXループCC状態は14に設定されています。この設定メニューを使用して、チャンネルごとにFXループCC状態を選択できます。CC番号はMIDI PC番号と同じ方法で表示され、増減できます。詳細は「PC番号」のセクションを参照してください。

7. ファームウェアバージョン / 工場出荷時リセット

この設定メニューを使用して、ReVoltユニットにインストールされている現在のファームウェアバージョンを確認し、工場出荷時リセットを実行するオプションを選択できます。

設定メニューに入ると、現在のファームウェアバージョンがReVoltのチャンネルLEDに表示されます。

工場出荷時リセットを実行するには、チャンネルAのフットスイッチを3回押します。押すたびに、チャンネルLEDの色が白に変わります。シーケンスを完了すると、チューブウィンドウが白く表示され、チャンネルLEDが2秒間点灯して、工場出荷時リセットが正常に完了したことを示します。リセットが完了すると、チャンネルLEDに再び現在のファームウェアバージョンが表示されます。

From:v3
<https://wiki.two-notes.com/> - User's manuals

Permanent link:
https://wiki.two-notes.com/doku.php?id=revolt_guitar:revolt_guitar_user_s_manual

Last update: 2024/01/17 09:12

